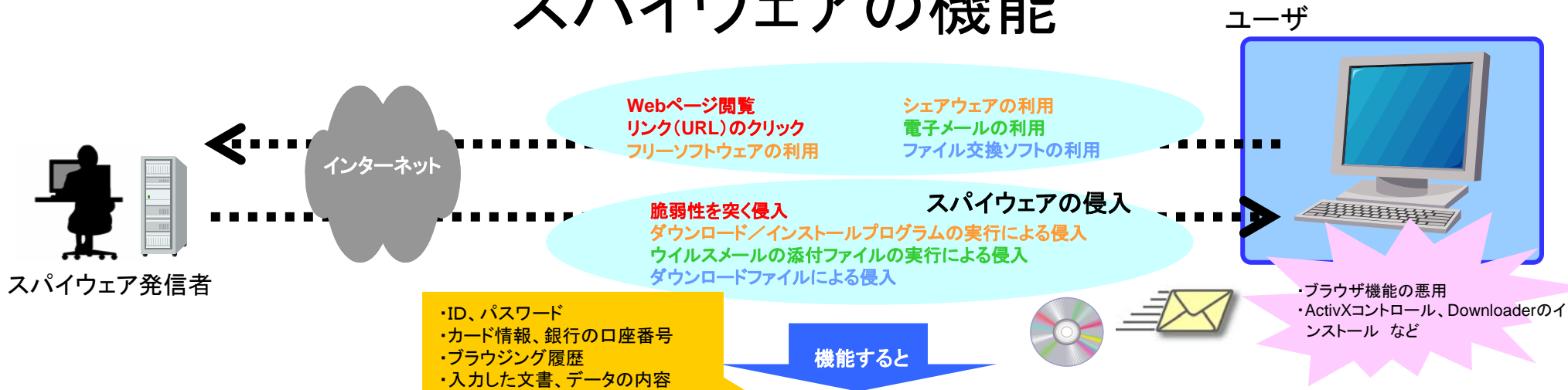


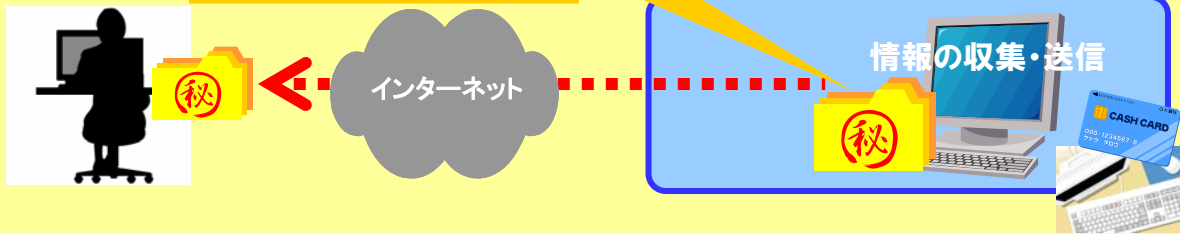
スパイウェアの定義について

平成18年2月21日
総務省情報通信政策局総合政策課

スパイウェアの機能

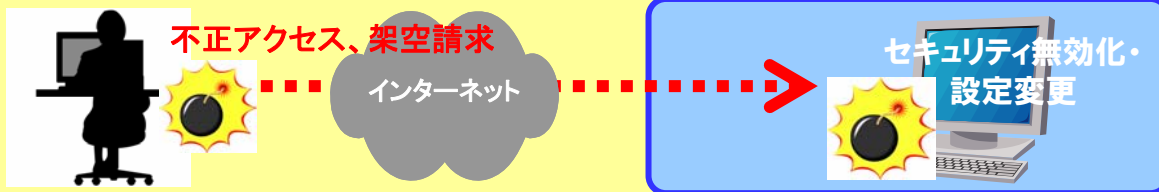


個人情報や機密情報の不正取得



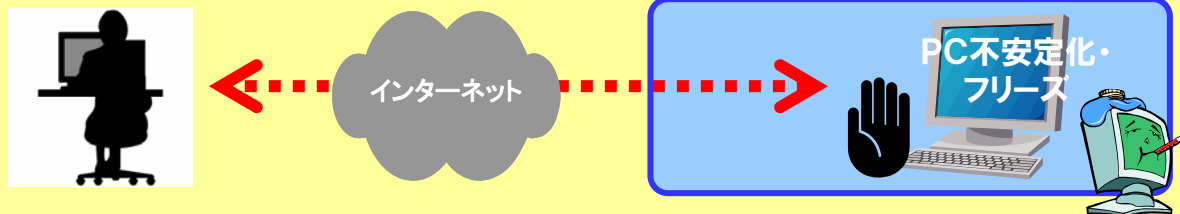
- ✓ ユーザの同意を得ないシステム内の情報の収集、送信
- ✓ ユーザのキーストロークやブラウジング履歴等の収集、送信

セキュリティ侵害



- ✓ ブラウザのスタートページ等の設定変更
- ✓ 検索ページ、アクセスポイント等の接続先の変更

PCパフォーマンス低下



- ✓ ブラウザの検索バーやツールバー等のコンポーネント追加
- ✓ ポップアップ広告の表示

スパイウェアの定義(1)

情報処理推進機構 (IPA) と日本ネットワークセキュリティ協会 (JNSA) スパイウェア対策啓発WGによる共同の定義

スパイウェアの定義

利用者や管理者の意図に反してインストールされ、利用者の個人情報やアクセス履歴などの情報を収集するプログラム等

出所)「スパイウェア対策のしおり」(IPAセキュリティセンター)

Microsoft社による定義

スパイウェアの定義

スパイウェアは、ユーザから正当な同意を得ないで、コンピュータに特定の活動を指示するもの。“スパイボット”または“追跡ソフトウェア”と呼ばれることもある。その主な機能としては、個人情報の収集や、インターネットブラウザの構成設定の変更などがある。ユーザーにとって不快であるだけでなく、コンピュータ全体のパフォーマンスの低下から個人のプライバシーの侵害まで、多様な問題がスパイウェアによって引き起こされる。

出所)「対ウイルス多層防御ガイド」(Microsoft TechNet)

スパイウェアの定義(2)

トレンドマイクロ社による定義

スパイウェアの定義

知らないうちにコンピュータに侵入し、コンピュータの情報や個人データを無断で盗み出したり、盗み出した情報を元に広告をポップアップするプログラムを総称して「スパイウェア」と呼びます。個人情報を盗み出すという部分では「トロイの木馬」に似ていますが、特に致命的な情報を漏らすことはなく、必ずしも不正なものとは断定できません。

スパイウェアの多くはフリーウェアなどともにインストールされ、コンピュータ環境や利用状況などの情報を収集することを目的としています。一般的なソフトウェア会社、ソフトウェア開発者によって作成されており、セキュリティポリシーが開示されていたり使用許諾書に明記されている場合もあります。

スパイウェアは、その活動が不正なものであるかどうかの線引きが非常に難しいものですが、ウイルスと異なりコンピュータのシステム改変をするような不正なプログラムではありません。したがって、検出された場合必ずしも削除する必要はありませんが、放置しておくとう個人情報流出や不正アクセスの被害を受ける可能性があります。

スパイウェアの定義(3)

米国のスパイウェア対策の業界団体Anti-Spyware Coalition (ASC) による定義

Spyware

Technologies deployed without appropriate user consent and/or implemented in ways that impair user control over:

ユーザの正当な同意なしにインストールされ、ユーザの管理を損なうような方法で実装される技術

● **Material changes that affect their user experience, privacy, or system security;**

ユーザ履歴、プライバシー、システムセキュリティに影響を与える変更を加える

● **Use of their system resources, including what programs are installed on their computers; and/or**

コンピュータにプログラムをインストールするなど、システムのリソースを使用する

● **Collection, use, and distribution of their personal or other sensitive information.**

ユーザの個人情報や他の機密情報を収集、使用、送信する

出所)「Anti-Spyware Coalition Definitions and Supporting Documents」(ASC)

“ウイルス”と“スパイウェア”の相違点

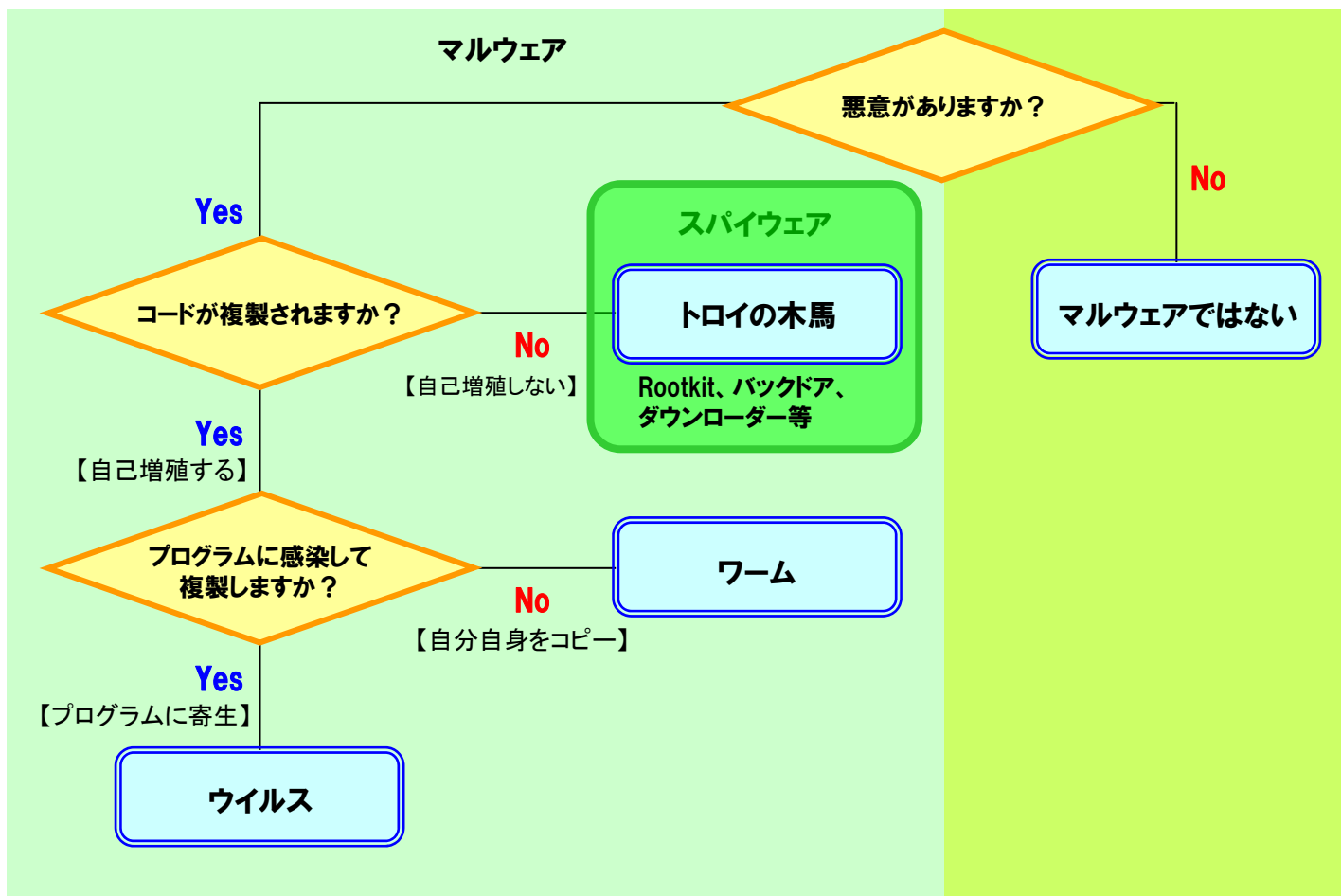
- 日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA)スパイウェア対策啓発WGによると、増殖するか／しないかがウイルスとスパイウェアの大きな相違点。

	ウイルス	スパイウェア
侵入経路	90%以上はメール添付により侵入	アプリケーションのインストール時、Web閲覧時など
構造	プログラムの一部としてファイルなどに感染して増殖	独立したプログラムでパソコンにインストールして活動、増殖しない
症状	多くは感染自体が被害	情報漏洩など実被害がある
産地	ほぼ100%海外産	国産スパイウェアの増加

出所)スパイウェア対策啓発WG資料

他のプログラムとスパイウェアの関係(1)

- “ウイルス”や“ワーム”と異なり、自己増殖しない“トロイの木馬”はスパイウェアの範疇に入るものと考えられる。



他のプログラムとスパイウェアの関係(2)

- “アドウェア”や“トラッキング・クッキー”、“キーロガー”、“リモートアクセスツール”等は、本来は正しく使用されているプログラムであるが、環境や使途、活動内容によって不正なプログラム(マルウェア)として働く場合もある。このような場合には、スパイウェアの範疇に入るものと考えられる。

